

平成 28 年度佐渡市第 4 回将来ビジョン等策定・推進会議 会議録（概要）

- I 会議の名称 佐渡市将来ビジョン等策定・推進会議
II 開催日時 平成29年3月2日（木）午後 1 時から午後 2 時10分まで
III 場所 金井コミュニティセンター1 階ホール

IV 議事

1. 開会
2. 議題
佐渡市将来ビジョンについて
3. その他
4. 閉会

V 出席者

別紙名簿のとおり

VI 会議の概要

●議事

1. 開会

（佐渡市）

佐渡市将来ビジョンの見直しについては、これまで意見交換を重ねながら見直し作業を進めてきたところです。

当会議については、本日を含めて 4 回開催し皆様より専門的観点から貴重なご意見をいただき、感謝申し上げます。本日は、前回会議におけるご意見や議会等からのご意見等を踏まえ最終報告させていただきます。

2. 佐渡市将来ビジョンについて

（会議資料に基づき説明）

（委員）

概要版の「歴史と文化が薫り自然と人が共生できる美しい島」はもう少しインパクトのあるものにできないか。

（佐渡市）

ビジョンの大きな目的は、人口減少対策であることから佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本コンセプトと同様にしたが、素案段階なので、修正する方向で進める。

（委員）

基本コンセプトが決定したら、東京銀座の真ん中で、街ゆく人に聞いて佐渡をイメージされるか聞いてみるのもいいだろう。

(委員)

パブリックコメント実施状況について、意見提出者が18人とあるが、通常どのくらいか。多い方なのか。

(佐渡市)

佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定において、パブリックコメントを実施したが、20人程度と記憶している。

(委員)

キャリア教育を知らない市民は沢山いると思うので、市民向けの概要版の中ではキャリア教育を含め、行政用語等は分かりやすい表現で記載して欲しい。

(委員)

佐渡に赴任して間もないのですが、佐渡の地物を佐渡で買うことができないことを感じている。将来ビジョンにも書かれているように地産地消の取組が重要なのかと思います。ぜひ、この将来ビジョンを早期に実施して欲しい。また、地域活性化には産業と人が重要であり、佐渡の現状ではまずは観光の振興が先決であり、我々もお手伝いしていきたいと考えている。

(委員)

海上運賃の助成があるやに聞いている。水産物の消費拡大のためには、海上輸送コストの削減と品質の向上、加工等による高付加価値化を関係者一丸となって努力していかなければいけない。

(委員)

将来ビジョンについて今後、関係者への説明を進めていくとのことだが、直近に総会の開催を予定しているので、その際はぜひお願いしたい。

(委員)

佐渡の農業の現状は、経営者の高齢化などが原因で離農者が増加していることから、U・Iターン者を含めた新規就農者の受入れが重要である。出張の際、島外の人に佐渡のイメージを聞いてみたところ、佐渡には良い資源がたくさんあり羨ましい。しかし、佐渡の位置が知られていないのも現実であり、このあたりの取組も重要である。

(委員)

将来ビジョンは市の最上位計画であり、市民に理解していただきながら取組を進めていって欲しい。

(委員)

市民への説明を丁寧にしていただき、市民の意見を具体的な施策に取り入れていって欲しい。

今年度は市長が交代して、副市長2人制の導入など大きな変革の一年であった。さらに新年度からは部制導入とともに支所や行政サービスセンター等の庁舎整備も図られるわけで、従来本庁主体で実施されてきた事業、例えば移住や観光客の受け入れ

等の業務も支所等が実施し、管区地域の市民参加の協議も支所が主体して行われるなど、地域活性化の拠点として行政と市民の関係が相互に深まるように進めて欲しい。

また、この将来ビジョンでの取組を進めていく上で、市民意見をしっかりと取り入れられるように努めて欲しい。特に中学生や高校生などの若い人の意見を取り入れること。先日中学生の取り組みの発表があり、とても素晴らしくて出席した皆さんが感心したと聞きます。本委員会などへも中高生などの若い人の参加があってもいいのではないかと感じます。若い人の意見というのは市役所職員についても同様で、積極的な導入をお願いしたい。

(委員)

中等教育学校の取組について、もう少し詳しく説明したい。

Bグループの取組は、佐渡牛のブランド力を活かして、佐渡を訪れた人を誘導する取組で南部地区にバーベキュー場を作り、両津から相川、南部へと人の流れを作ることが目的としたアイデアです。

Gグループの取組は、佐渡限定ブランド品を開発して、佐渡への人の流れを作り出す取組で、商品PRはインターネット等活用するが、商品購入は佐渡に来ないと買えない仕組みにして、佐渡に人を来させることを目的としたアイデアです。

以上の2つの取組は佐渡に人を流れ込ませる効果的なアイデアであると感じました。

発表全体を通して、ネット環境を活用した子ども達の情報発信能力を活かして、例えば佐渡をタグ付けさせて、佐渡の山、海、空、食などの情報発信をさせてみるなど、子ども達の可能性の大きさを感じました。

子ども達なりに様々なことを感じて様々なアイデアを持っており、このアイデアを施策に取り入れることで、子ども達が今後、佐渡に帰って来るきっかけになるのではないかと感じました。

キャリア教育の一環で、自分達の地区で地域を元気にするために何ができるかを考える授業がありますが、このような取組を全島的に広げて、柔軟な子ども達のアイデア等を市役所、市内の企業等に紹介して、子ども達は佐渡のことをどのように見ているのか知っていただくことが大切だと感じました。

(委員)

市民意見を取り入れた将来ビジョンは市民の皆様には理解していただく必要がある。また、将来ビジョンに基づく施策等の進捗状況の報告が必要だと思います。

子育て支援の充実について、例えば、乳幼児の時の教育、親からの沢山の愛情はとても重要だということを知っておいて欲しい。

(委員)

将来ビジョンは、活字が多くて一般市民には難しいです。もう少し分かりやすいパンフレットなどで説明して欲しいです。

(委員)

素晴らしい将来ビジョンが完成した。佐渡市の活性化のために、ぜひとも実現してもらいたい。

この将来ビジョンを佐渡テレビなどで市職員がPRしていくとのことだが、ぜひともお願いしたい。

中等教育学校のアイデアは、とても素晴らしいと思います。この将来ビジョンの中にも同じような取組が盛り込まれているので、ぜひ将来ビジョンの達成から、素晴らしい考え方ができる子ども達が佐渡に残れるよう取り組んで欲しい。

(佐渡市)

委員の皆様からのご指摘、ご意見ありがとうございます。

子どもの頃から佐渡を知っていただく佐渡学の取組はとても重要だと感じており、教育現場のみではなく、家庭、集落においても取り組んで欲しい。中等教育学校の成果発表のフードパークの例については、佐渡は作って食べるだけではなく、採って作って食べることができる体験型の展開が可能という島の強みを活かした商品開発に力を入れたいと考えており、取組を進めている。市民の皆様への告知については、佐渡テレビに市の職員が直接出演して情報発信するよう指示している。将来ビジョンの説明について、市民にしっかりと説明していかなければならないと考えており、支所・行政サービスセンターの活用も含めて、対応していきます。

(佐渡市)

地産地消、産業振興、観光も含めてしっかりと進めていただきたいとのご意見について、4月から施行予定の有人国境離島特措法に基づく新しい支援制度で、雇用確保を条件に起業、創業への手厚い制度があります。今、国と協議を行っている段階であり、この制度を活用して将来ビジョンに書かれている産業振興、観光振興を図っていきたくて考えています。

海上輸送についても、同様に国の新しい支援制度で低廉化を図っていきたくて考えています。

概要版について、分かりにくいとのご意見がありますので、修正しつつ、市長から説明があったように、テレビ、地域集会等でしっかりと説明していきます。

平成29年度当初予算は、この将来ビジョンに基づいた編成を行っております。この将来ビジョンを市の最上位計画として取組を進めていきますが行政のみでは限界がありますので、官民一体となって進めていきたくて考えております。

(委員)

支所機能を充実させるとのことですので、地域でしっかりと議論できるよう取り組んで欲しい。

また、素晴らしい将来ビジョンが完成したので、進捗管理についても自己点検、外部点検等、しっかりと進めて欲しい。

3. その他
特になし

4. 閉会